



2019年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2018年7月27日

上場会社名 田岡化学工業株式会社 上場取引所 東
 コード番号 4113 URL http://www.taoka-chem.co.jp
 代表者(役職名) 取締役社長 (氏名) 佐藤 良
 問合せ先責任者(役職名) 事業支援室部長 (氏名) 勝本 泰仁 (TEL) 06-6394-1221
 四半期報告書提出予定日 2018年8月10日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2019年3月期第1四半期の連結業績(2018年4月1日~2018年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年3月期第1四半期	5,588	19.4	568	82.6	584	78.0	422	81.0
2018年3月期第1四半期	4,681	17.7	311	93.4	328	96.9	233	133.8

(注) 包括利益 2019年3月期第1四半期 435百万円(78.3%) 2018年3月期第1四半期 244百万円(187.4%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2019年3月期第1四半期	147.38	—
2018年3月期第1四半期	81.39	—

(注) 当社は、2017年10月1日付で普通株式5株につき1株の割合で株式併合を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定して「1株当たり四半期純利益」を算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2019年3月期第1四半期	20,652	10,136	49.1
2018年3月期	21,135	9,816	46.4

(参考) 自己資本 2019年3月期第1四半期 10,136百万円 2018年3月期 9,816百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2018年3月期	—	5.00	—	40.00	—
2019年3月期	—	—	—	—	—
2019年3月期(予想)	—	40.00	—	40.00	80.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

※当社は、2017年10月1日付で普通株式5株につき1株の割合で株式併合を行っております。2018年3月期の1株当たり期末配当金につきましては、当該株式併合を考慮した金額を記載し、年間配当金合計は、「—」として記載しております。株式併合を考慮した場合の2018年3月期の1株当たり第2四半期末配当金は25円00銭となり、1株当たり年間配当金は65円00銭となります。

3. 2019年3月期の連結業績予想(2018年4月1日~2019年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	11,000	8.9	1,000	25.6	1,000	21.7	650	10.9	226.08
通期	23,500	7.6	2,200	6.0	2,200	4.7	1,500	10.0	523.12

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動） : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料 8 ページ「(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

2019年3月期1Q	2,888,000株	2018年3月期	2,888,000株
2019年3月期1Q	20,905株	2018年3月期	20,809株
2019年3月期1Q	2,867,158株	2018年3月期1Q	2,867,710株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数（四半期累計）

※ 当社は、2017年10月1日付で普通株式5株につき1株の割合で株式併合を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定して、「期末発行済株式数」、「期末自己株式数」および「期中平均株式数」を算定しております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は当社が現在入手している情報および合理的であると一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての事項等については添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

（日付の表示方法の変更）

「2019年3月期 第1四半期決算短信」より日付の表示方法を和暦表示から西暦表示に変更しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(追加情報)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間の当社グループの売上高は55億88百万円となり、前年同四半期連結累計期間（以下、「前年同四半期」）に比べて9億7百万円の増収となりました。

損益面におきましては、営業利益は5億68百万円（前年同四半期比2億57百万円増）、経常利益は5億84百万円（同2億56百万円増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は4億22百万円（同1億89百万円増）となりました。

[セグメント別の売上高の概況]

区 分	前年同四半期		当第1四半期 連結累計期間		増 減	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	増減率
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
精密化学品部門	1,954	41.8	2,787	49.9	833	42.6
機能材部門	1,014	21.7	973	17.4	△40	△4.0
機能樹脂部門	519	11.1	565	10.1	45	8.8
化成品部門	1,077	23.0	1,142	20.5	64	6.0
化学工業セグメント	4,566	97.6	5,469	97.9	902	19.8
その他	114	2.4	119	2.1	5	4.5
合 計	4,681	100.0	5,588	100.0	907	19.4

<化学工業セグメント>

当セグメントの売上高は、54億69百万円となり、前年同四半期と比べて9億2百万円の増収となりました。

(精密化学品部門)

樹脂原料の出荷数量の増加や前期末より繰り越した医薬中間体や農薬中間体の在庫の出荷を行ったことによる増加があったため、売上高は27億87百万円となり、前年同四半期と比べて8億33百万円の増収となりました。

(機能材部門)

接着剤・ゴム薬品ともに出荷数量が減少したため、売上高は9億73百万円となり、前年同四半期と比べて40百万円の減収となりました。

(機能樹脂部門)

加工樹脂の出荷数量は減少したものの、ワニスの出荷数量が増加したため、売上高は5億65百万円となり、前年同四半期と比べて45百万円の増収となりました。

(化成品部門)

可塑剤・その他化成品ともに出荷数量が増加したため、売上高は11億42百万円となり、前年同四半期と比べて64百万円の増収となりました。

<その他>

化学分析受託事業の売上高は、作業環境測定が増加したため1億19百万円となり、前年同四半期と比べて5百万円の増収となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

流動資産は、前連結会計年度末と比べて3億56百万円減少し、104億11百万円となりました。これは、主として受取手形及び売掛金や商品及び製品の減少によるものです。

固定資産は、前連結会計年度末と比べて1億27百万円減少し、102億40百万円となりました。これは、主として減価償却費等による減少が老朽化更新等による設備投資額を上回ったことによるものです。

この結果、当第1四半期連結会計期間末の総資産額は206億52百万円となり、前連結会計年度末と比べて4億83百万円の減少となりました。

(負債)

流動負債は、前連結会計年度末と比べて7億22百万円減少し、68億7百万円となりました。これは、主として支払手形及び買掛金や短期借入金および賞与引当金ならびに未払法人税等の減少によるものです。

固定負債は、前連結会計年度末と比べて81百万円減少し、37億8百万円となりました。これは、主として退職給付に係る負債の増加を長期借入金の返済による減少が上回ったことによるものです。

この結果、負債合計は、前連結会計年度末と比べて8億3百万円減少し、105億15百万円となりました。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末の純資産額は、前連結会計年度末と比べて3億19百万円増加し、101億36百万円となりました。これは、主として利益剰余金の増加によるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2018年5月10日公表数値から変更しておりません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2018年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	438,161	463,344
受取手形及び売掛金	5,246,488	5,002,506
商品及び製品	3,228,037	3,069,056
仕掛品	104,662	80,560
原材料及び貯蔵品	1,585,725	1,619,008
その他	165,064	176,922
貸倒引当金	△52	△48
流動資産合計	10,768,087	10,411,351
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	8,107,696	8,116,610
減価償却累計額及び減損損失累計額	△5,124,935	△5,176,107
建物及び構築物(純額)	2,982,761	2,940,503
機械装置及び運搬具	21,417,311	21,382,166
減価償却累計額及び減損損失累計額	△16,850,886	△16,963,451
機械装置及び運搬具(純額)	4,566,424	4,418,715
その他	3,272,738	3,391,166
減価償却累計額及び減損損失累計額	△1,534,876	△1,557,628
その他(純額)	1,737,862	1,833,538
有形固定資産合計	9,287,048	9,192,756
無形固定資産	38,947	41,719
投資その他の資産		
その他	1,042,503	1,006,912
貸倒引当金	△700	△700
投資その他の資産合計	1,041,803	1,006,212
固定資産合計	10,367,799	10,240,689
資産合計	21,135,886	20,652,040

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2018年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,225,821	3,988,800
短期借入金	650,000	400,000
1年内返済予定の長期借入金	520,000	480,000
未払法人税等	414,848	102,546
賞与引当金	401,818	205,223
その他	1,317,005	1,630,828
流動負債合計	7,529,493	6,807,399
固定負債		
長期借入金	1,198,120	1,080,270
退職給付に係る負債	2,383,367	2,410,235
その他	208,329	217,841
固定負債合計	3,789,816	3,708,347
負債合計	11,319,310	10,515,746
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,572,000	1,572,000
資本剰余金	1,008,755	1,008,755
利益剰余金	7,213,431	7,521,312
自己株式	△28,214	△28,826
株主資本合計	9,765,973	10,073,241
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	56,748	59,085
為替換算調整勘定	14,906	16,091
退職給付に係る調整累計額	△21,051	△12,124
その他の包括利益累計額合計	50,603	63,052
純資産合計	9,816,576	10,136,294
負債純資産合計	21,135,886	20,652,040

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2017年4月1日 至2017年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年6月30日)
売上高	4,681,262	5,588,971
売上原価	3,618,798	4,268,599
売上総利益	1,062,464	1,320,371
販売費及び一般管理費	751,265	752,014
営業利益	311,198	568,357
営業外収益		
受取利息	155	226
受取配当金	13,102	13,952
その他	7,225	6,503
営業外収益合計	20,483	20,682
営業外費用		
支払利息	2,557	1,857
その他	729	2,599
営業外費用合計	3,287	4,457
経常利益	328,394	584,582
特別損失		
固定資産除却損	6,295	3,929
特別損失合計	6,295	3,929
税金等調整前四半期純利益	322,099	580,653
法人税、住民税及び事業税	44,855	93,098
法人税等調整額	43,828	64,986
法人税等合計	88,684	158,084
四半期純利益	233,415	422,568
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	233,415	422,568

四半期連結包括利益計算書
第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2017年4月1日 至2017年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年6月30日)
四半期純利益	233,415	422,568
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	11,473	2,337
為替換算調整勘定	△231	1,185
退職給付に係る調整額	△641	8,926
その他の包括利益合計	10,600	12,449
四半期包括利益	244,015	435,017
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	244,015	435,017
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

原価差額の繰延処理

操業度等の季節的な変動に起因した原価差異が発生し、原価計算期間末までにほぼ解消が見込まれる場合には、当該原価差異を繰り延べております。

(追加情報)

(「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を当第1四半期連結会計期間から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示しております。